

# 乳がん精密検査に関する意識調査

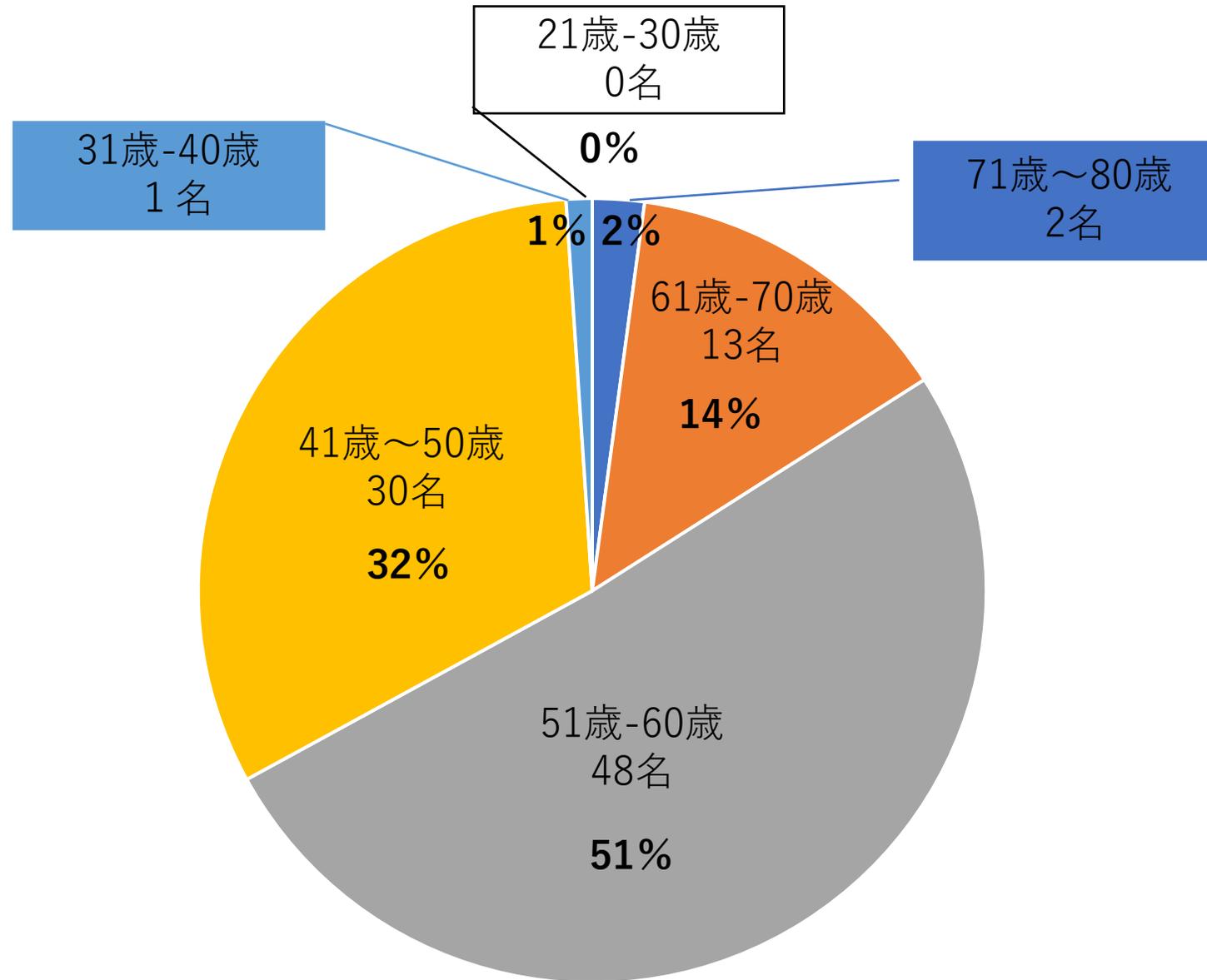
一般社団法人乳腺画像・研究診断支援グループ

# アンケートについて

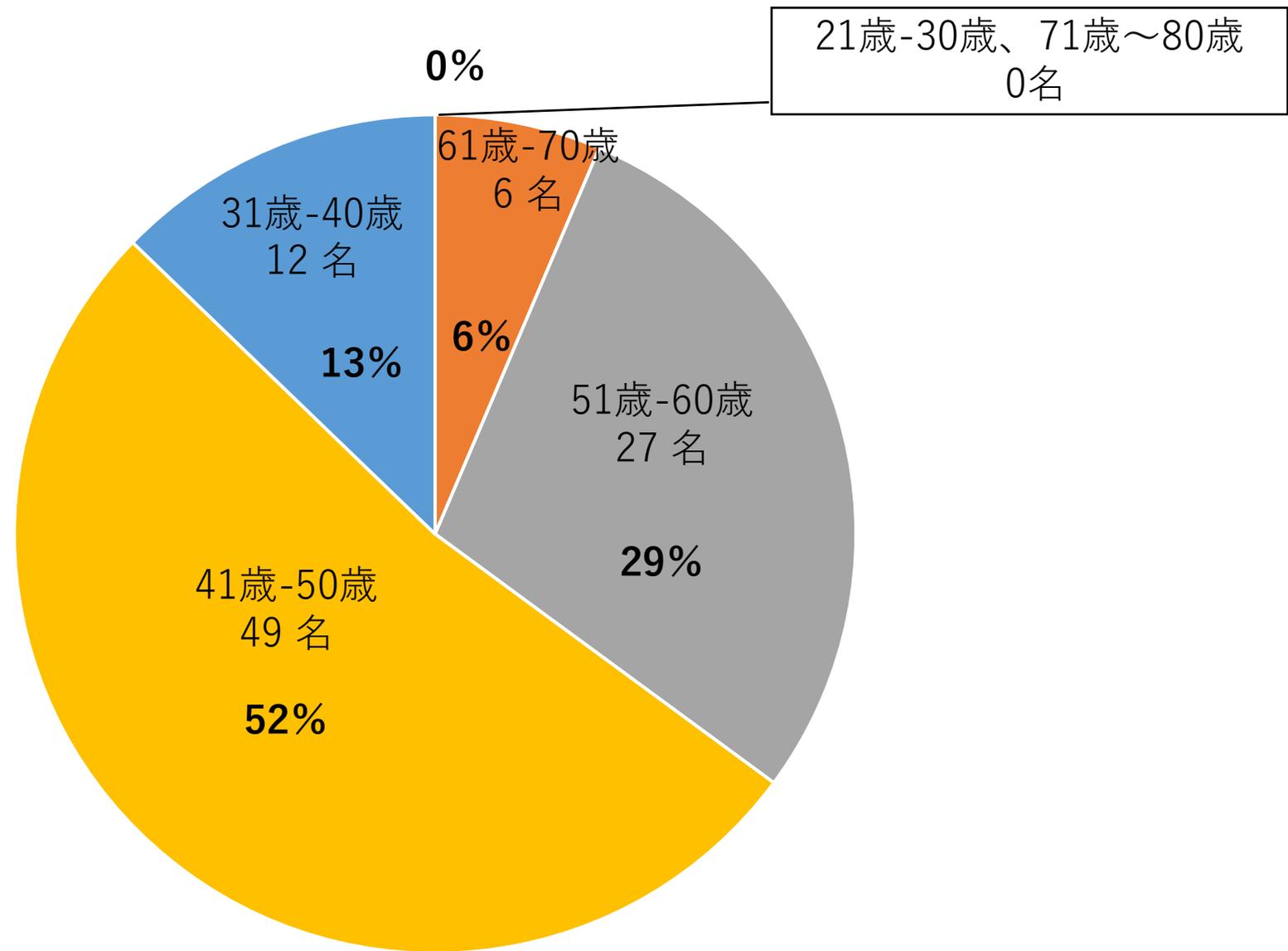
- 「乳がん精密検査に関する意識調査」として  
一般社団法人乳腺画像・研究診断支援グループが実施
- 主に患者会に協力依頼
- 調査期間：2018年11月16日～2019年6月18日
- 回答数94（アクセス数401）

※本アンケートは「乳がん精密検査を受けたことのある女性を対象」実施するため、多くの乳がん患者会の皆様お声がけし、ご協力をいただきました。従って精密検査の結果などは通常と大きく異なる数値となっていることを予めご了承ください。

Q1. 【基本情報1】現在の年齢をお教えてください。(回答数94)

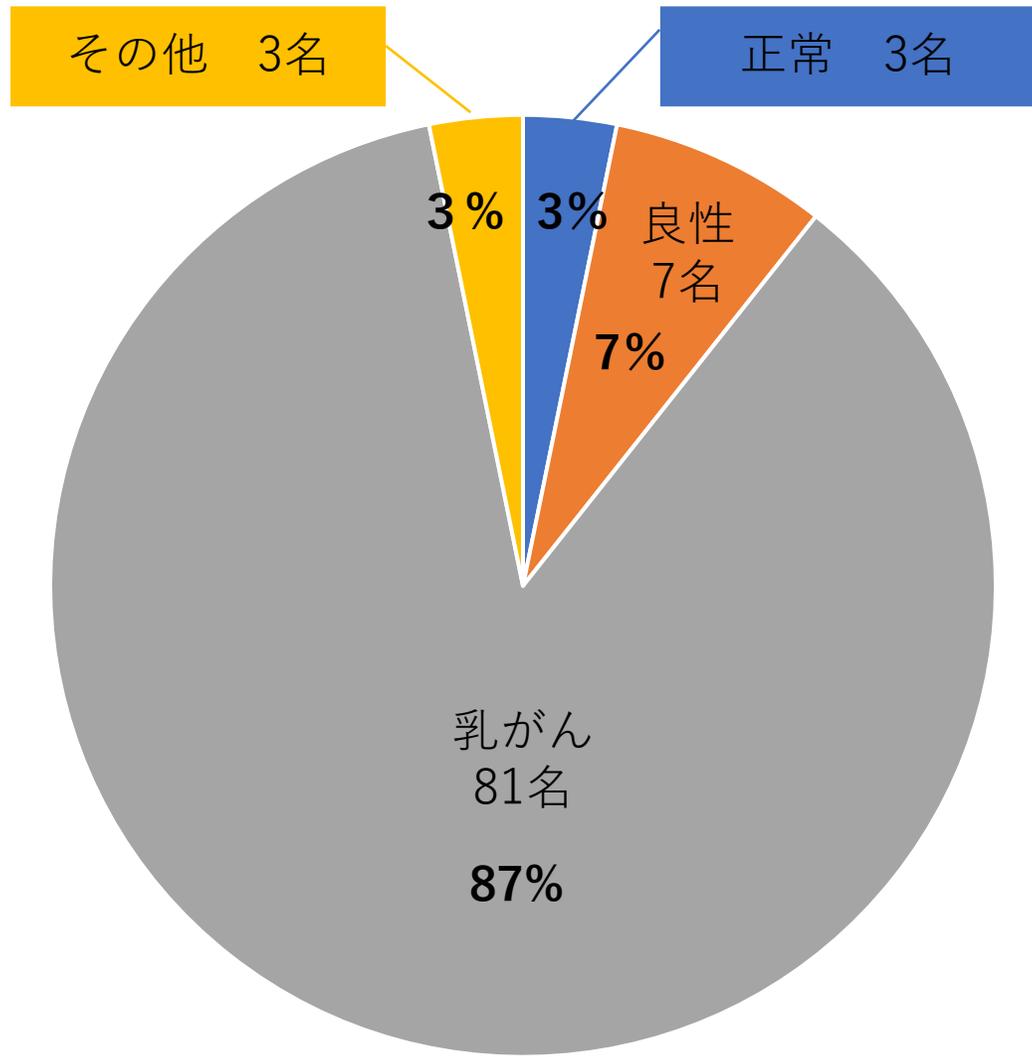


Q2. 【基本情報2】 乳がん検診・検査（人間ドック等）で「要精密検査」となった時の年齢をお教えてください。（回答数94）



Q3. 「精密検査」の結果をお教えてください。(回答数94)

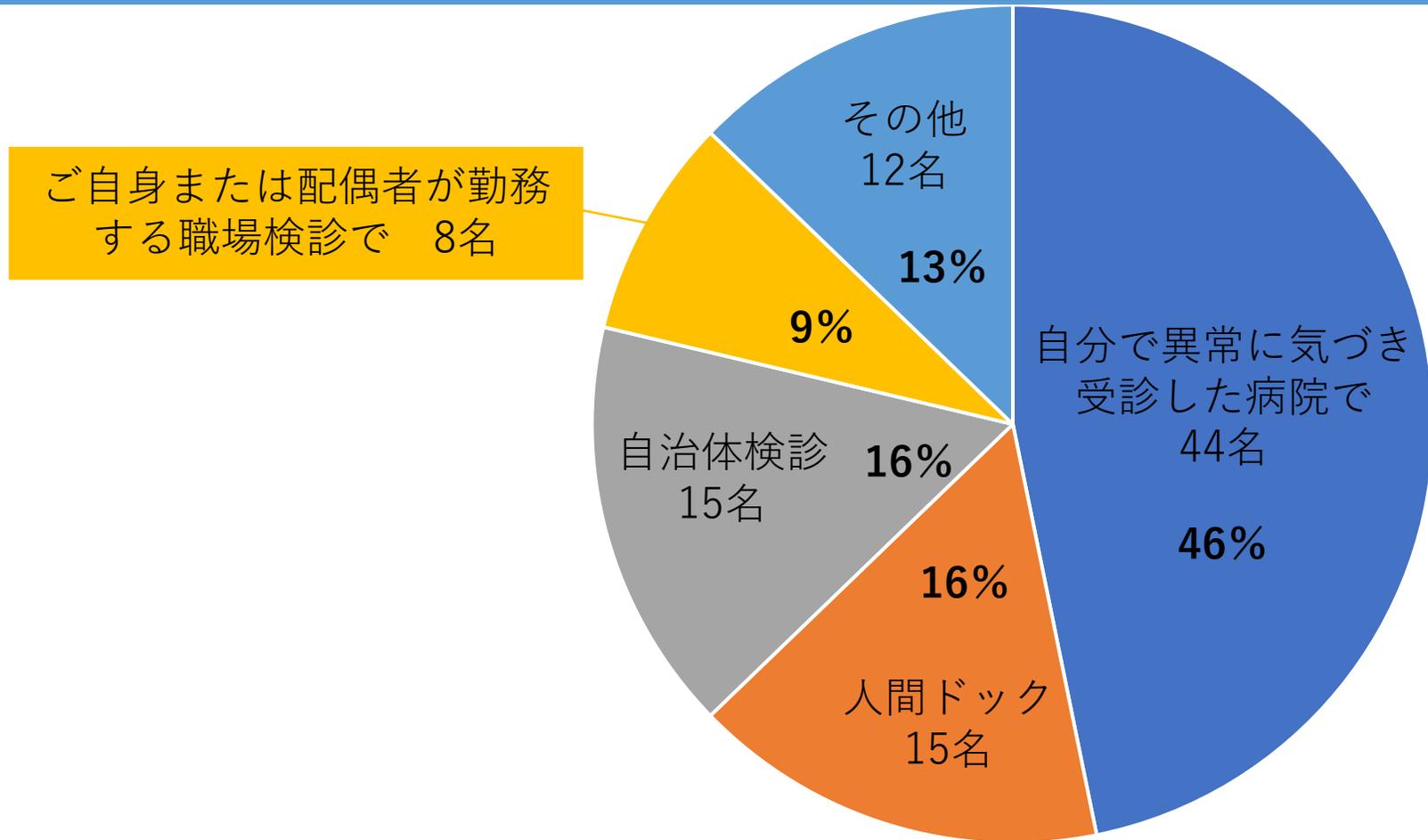
その他  
・再々検査、MRI待ち  
・異型 ・石灰化



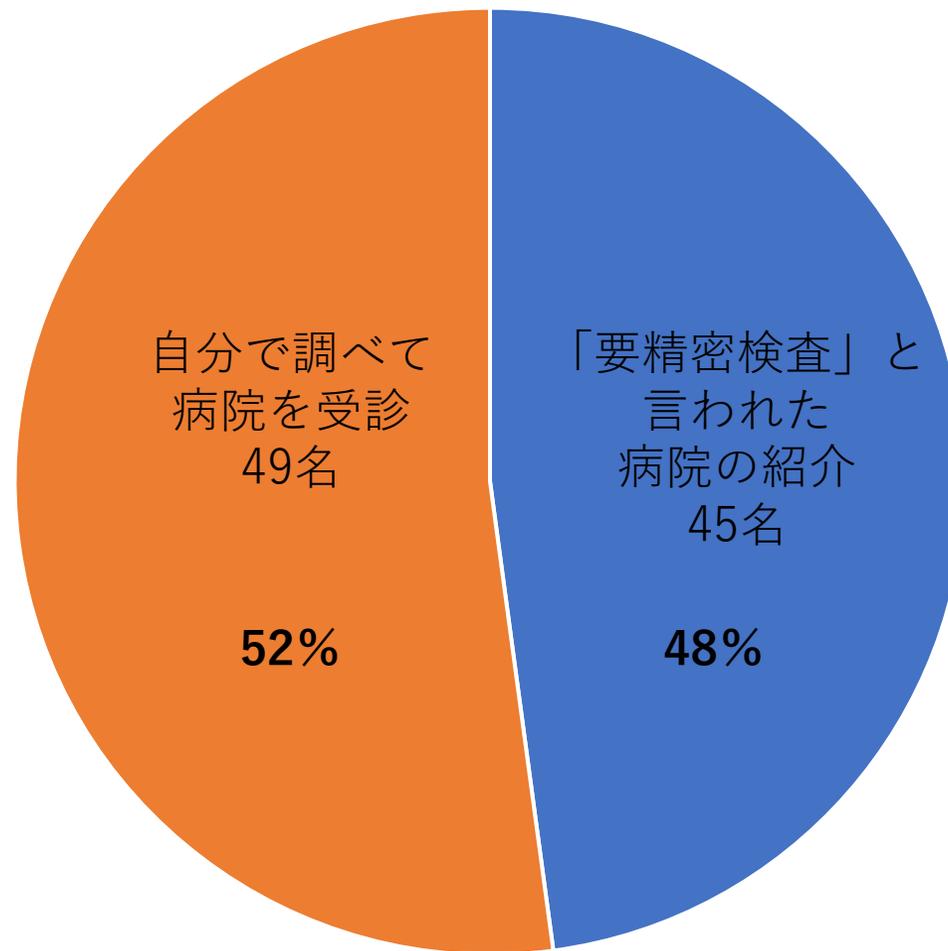
#### Q4. 「要精密検査」となったきっかけについて教えてください。(回答数94)

##### その他

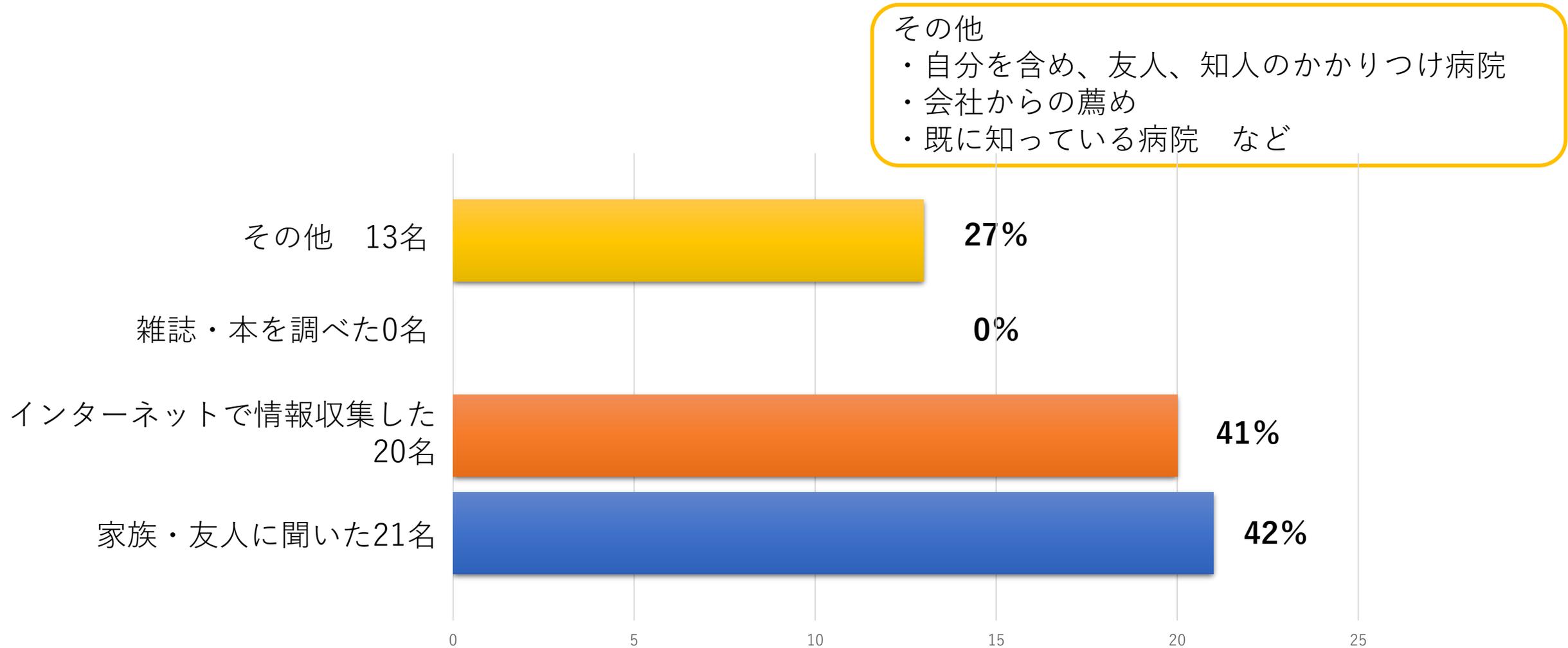
- ・ 乳腺症のため既に通院中、またはかかりつけ医がいるクリニックで
- ・ 他の病気で入院していた際の検査に入っていた
- ・ 母親が乳がんで乳腺クリニックの先生と相談し、半年毎に検査をしていた など



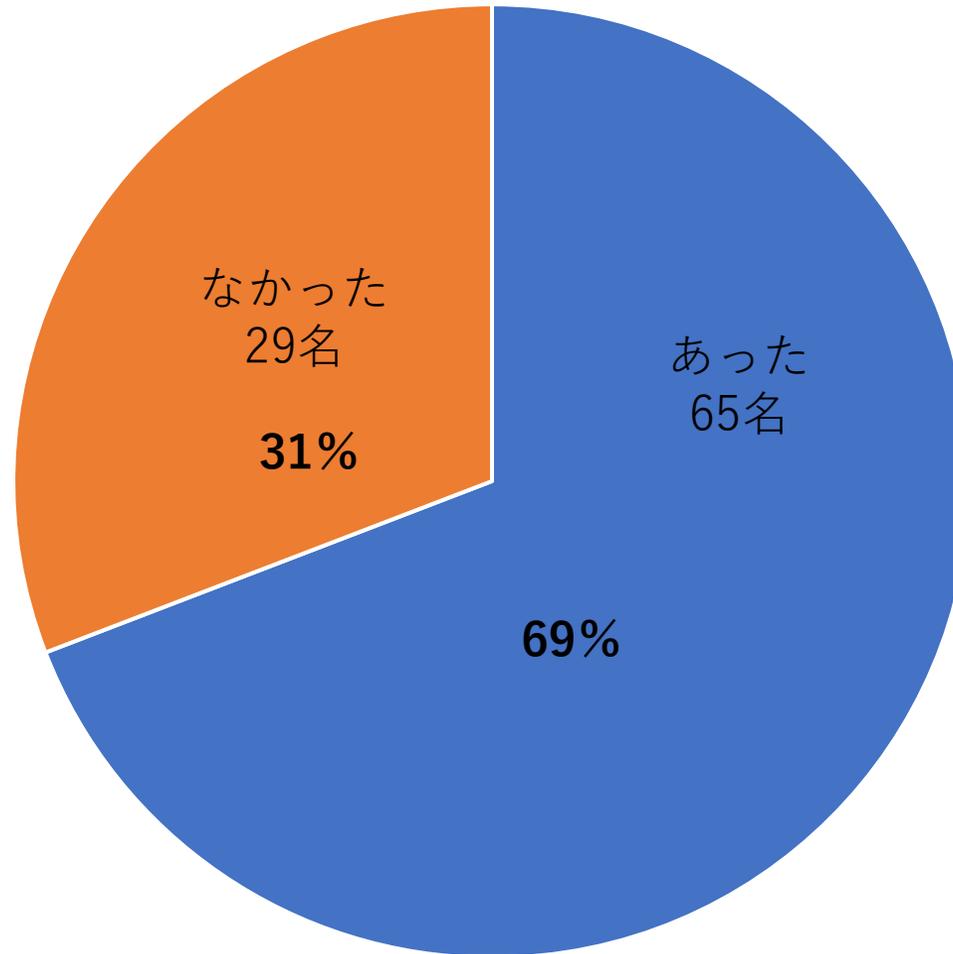
Q5. 精密検査を受けた医療機関はどのようにして決めましたか。(回答数94)



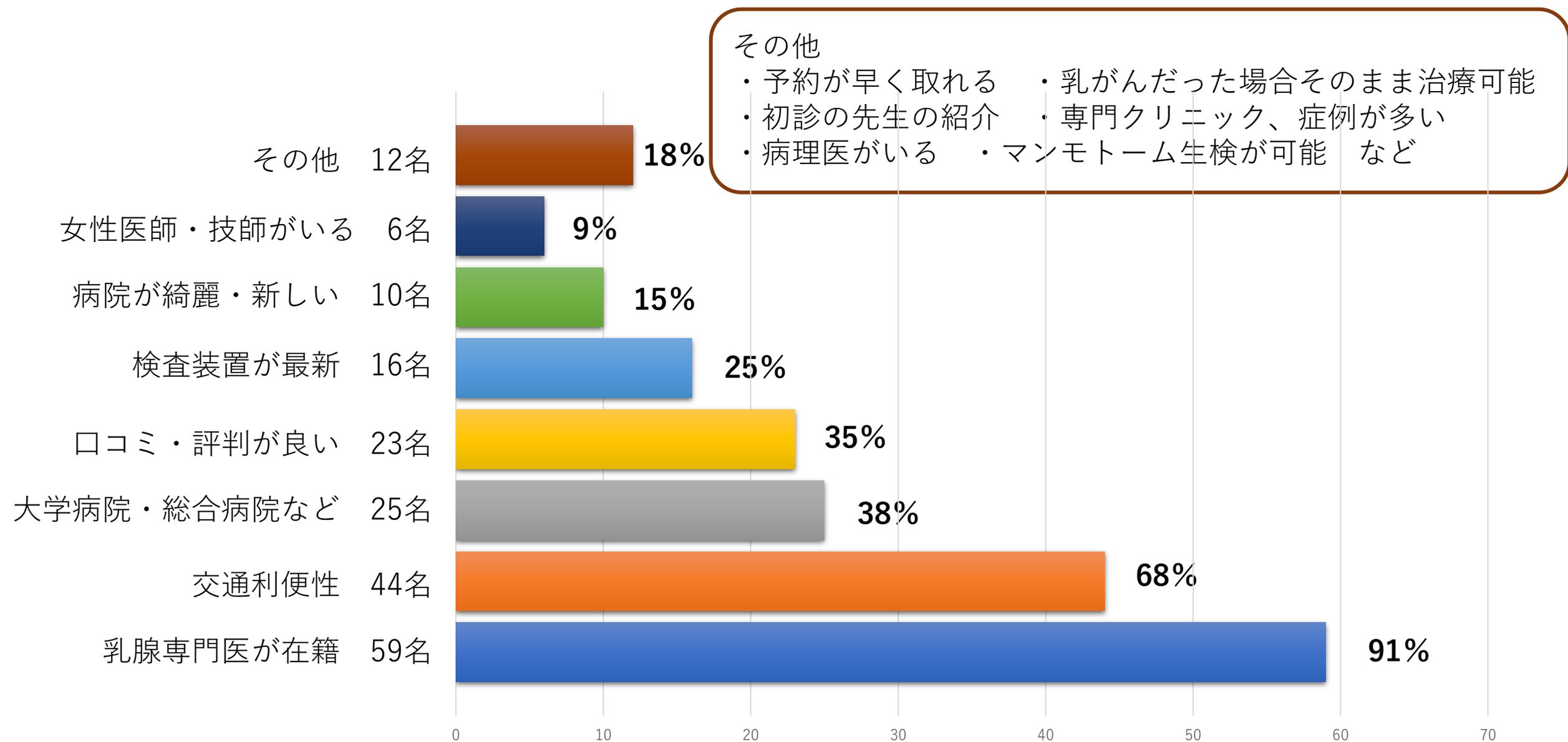
Q6. Q5で「自分で調べて病院を受診した」と回答した方にお聞きします。  
精密検査の受診先をどのようにして調べましたか？(回答数49 ※複数回答可)



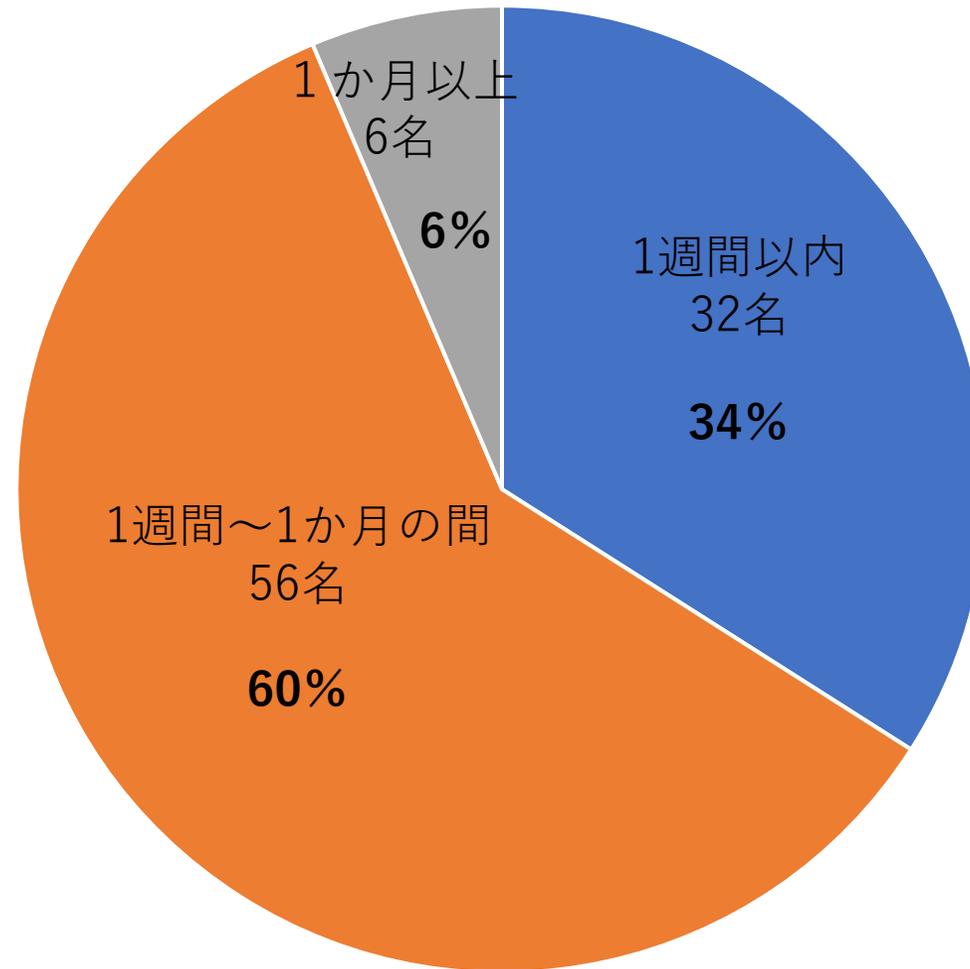
Q7. 精密検査を受ける医療機関を選ぶ際に重視したことはありましたか。(回答数94)



Q8. Q7で「精密検査を受ける医療機関を選ぶ際に重視したことがある」と回答した方にお聞きします。精密検査を受ける際に最も重視したことを3つ選んでください。(回答数65 ※複数回答可)



Q9. 「要精密検査」の通知が届いてから精密検査受診までの期間はどのくらいでしたか。(回答数94)



Q10. Q9で「1か月以上先」と回答した方にお聞きします。1か月以上先になってしまった理由に最も近いものを選択してください。(回答数6)

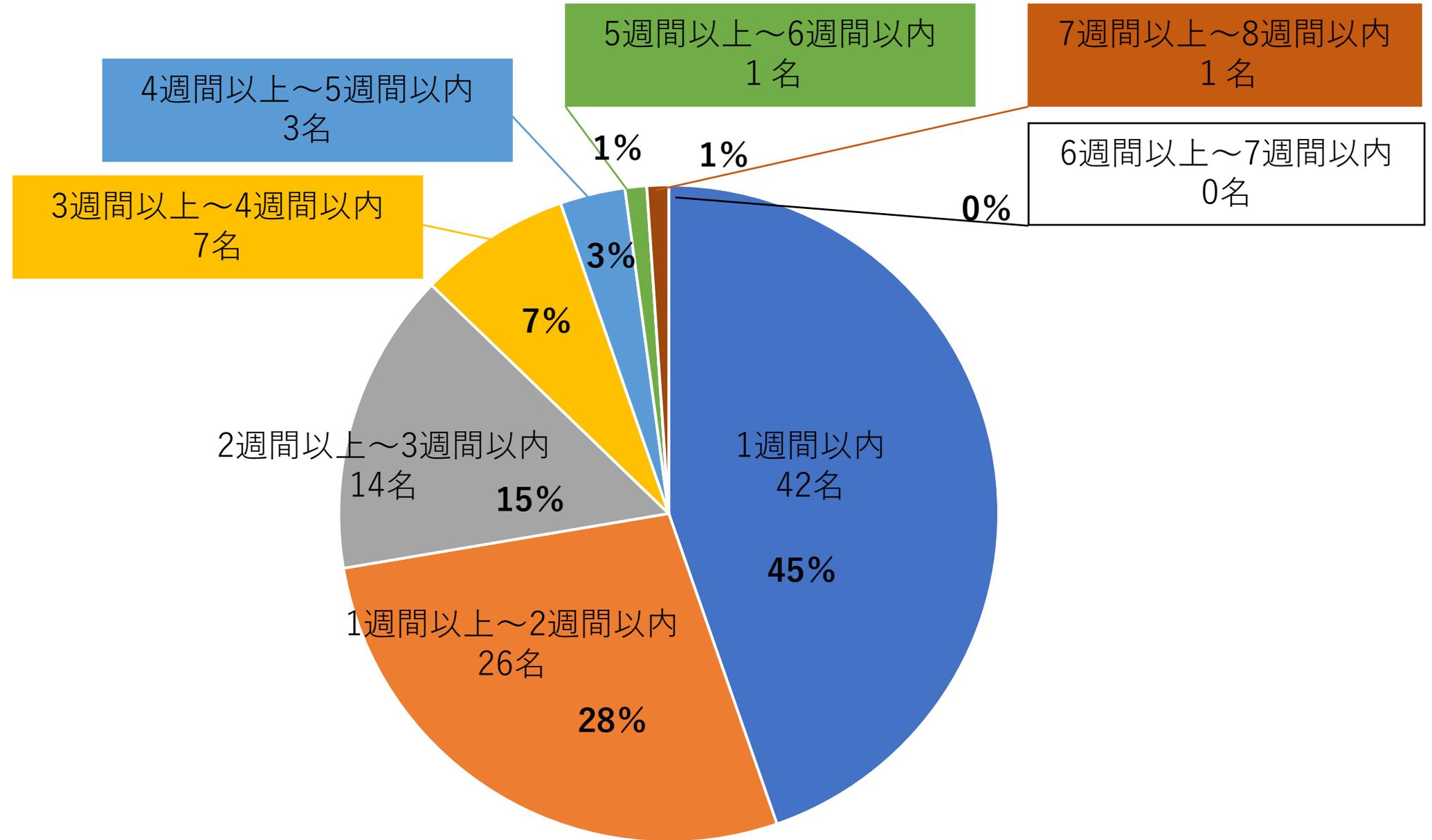
■1か月以上と回答した方の受診までの期間

- ・2か月～3か月以内が3名、4か月が1名、1年が1名  
他1名は1か月以上で未回答

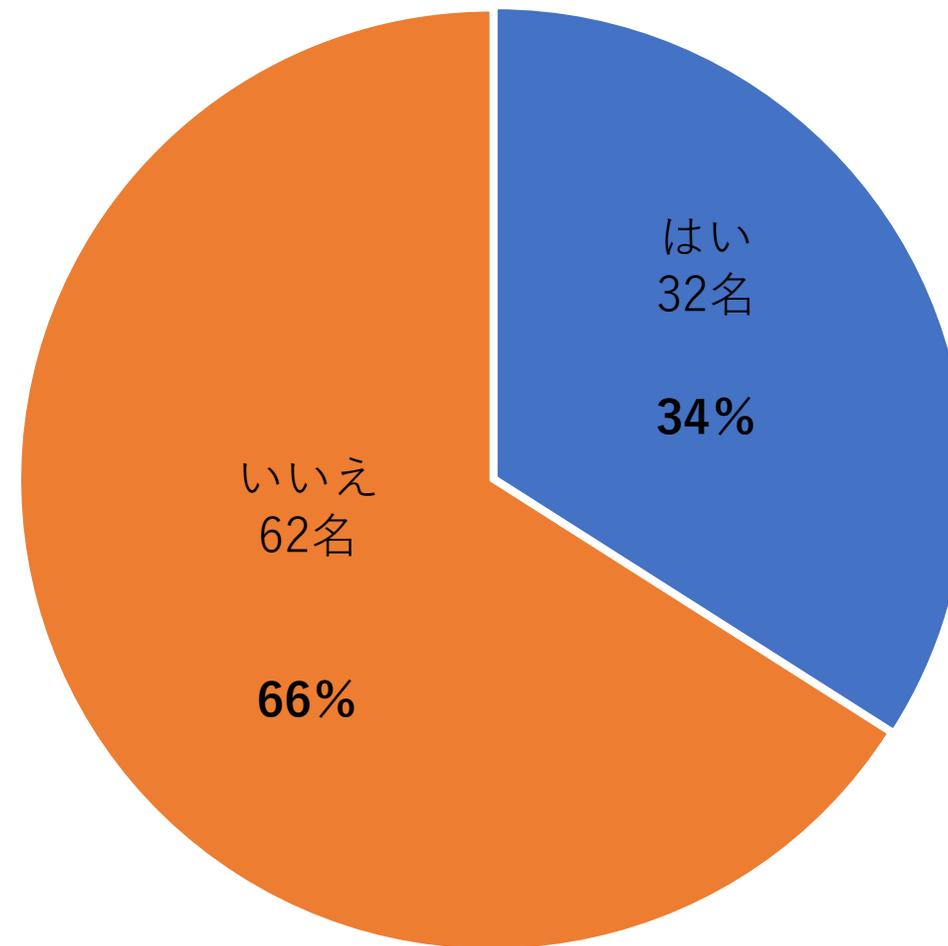
■「要精密検査」の通知から実際の精密検査受診に1か月以上かかった理由として…

- ・1件目では乳腺炎・2件目で良性のしこりと言われていたため  
(3件目でがんが発覚したため)
- ・要精密検査の深刻度を理解しておらず、仕事も忙しかったので後回しにしてしまった。  
検診施設に要精密検査になった場合どうしたらよいのかを問い合わせ、事の深刻さを理解した。紙一枚で結果が送られてきたただけだったためピンとこず、たいしたことではない  
と思い込んでしまった。
- ・最初人間ドックを受けた病院に行き経過観察だったが不安から別の病院を探し  
再検査したため 時間がかかった。
- ・身内の不幸 など

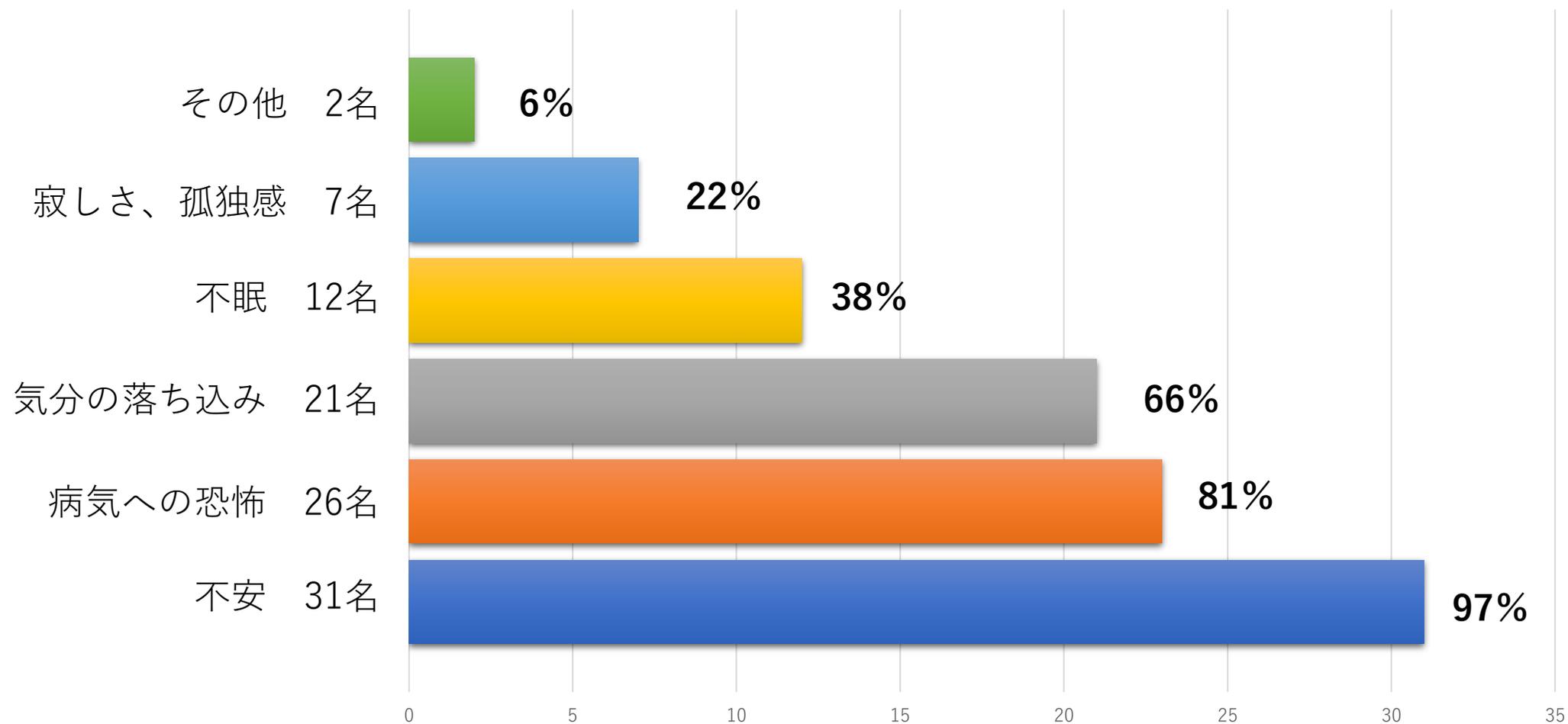
Q11. 精密検査を受けるため医療機関に電話をしてから実際に受診するまでどのくらいの期間がかかりましたか？ (回答数94)



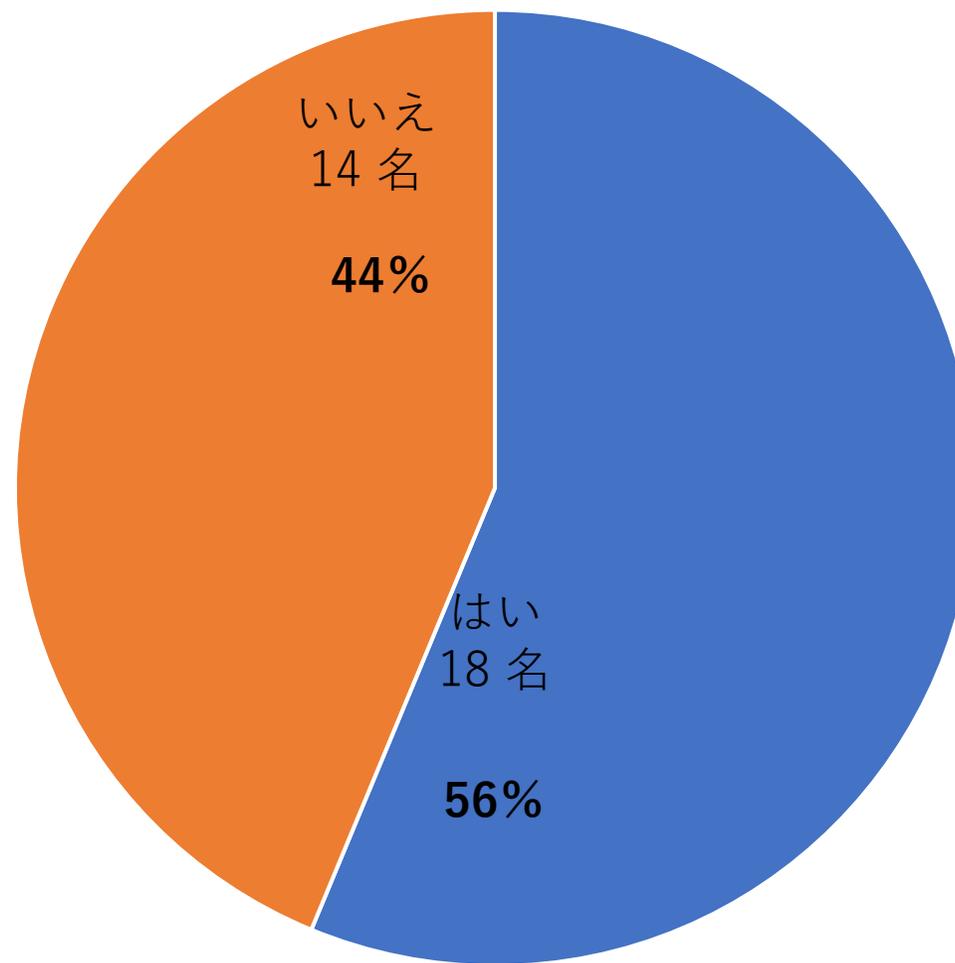
Q12. 精密検査結果を聞くまでの間、不安から心身に不調をきたしましたか。(回答数94)



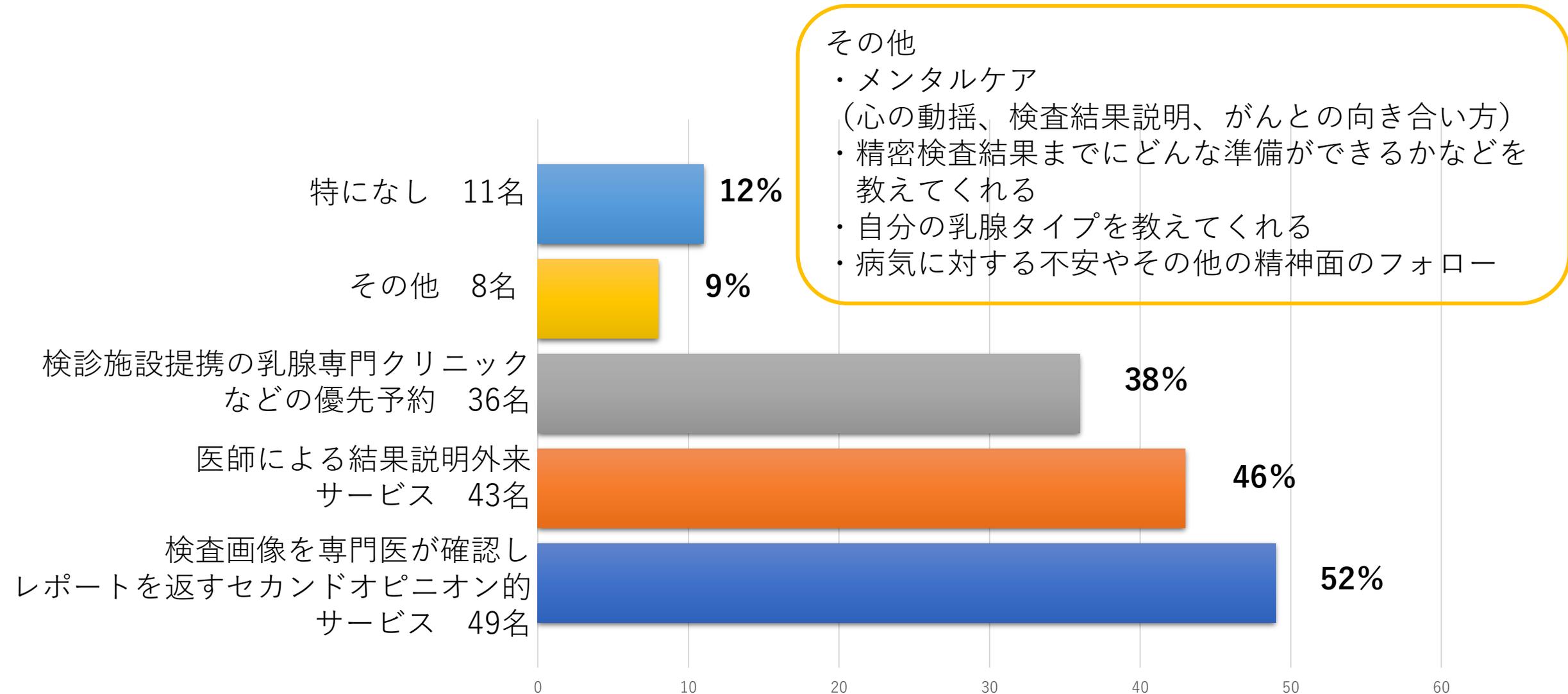
Q13. Q12で「はい」と回答した方にお聞きします。当時の不調で当てはまるものについて選択をしてください。(回答数32 ※複数回答可)



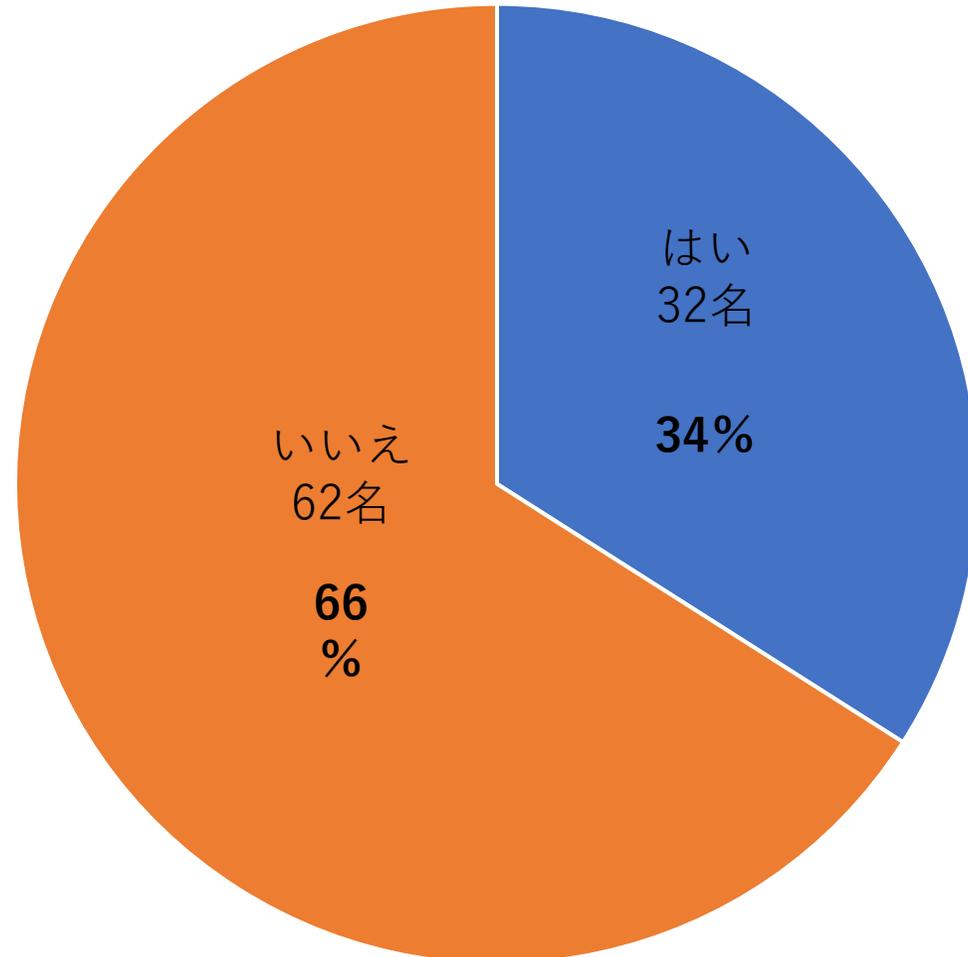
Q14. Q12で「心身に不調をきたした」と回答をした方にお聞きします。  
検査結果が出るまでの間の「不眠」、「気分の落ち込み」、「不安」、「さみしさや孤独感」  
「病気に対する恐怖」などについてどなたかに相談をしたり、話を聞いてもらいましたか。  
(回答数32)



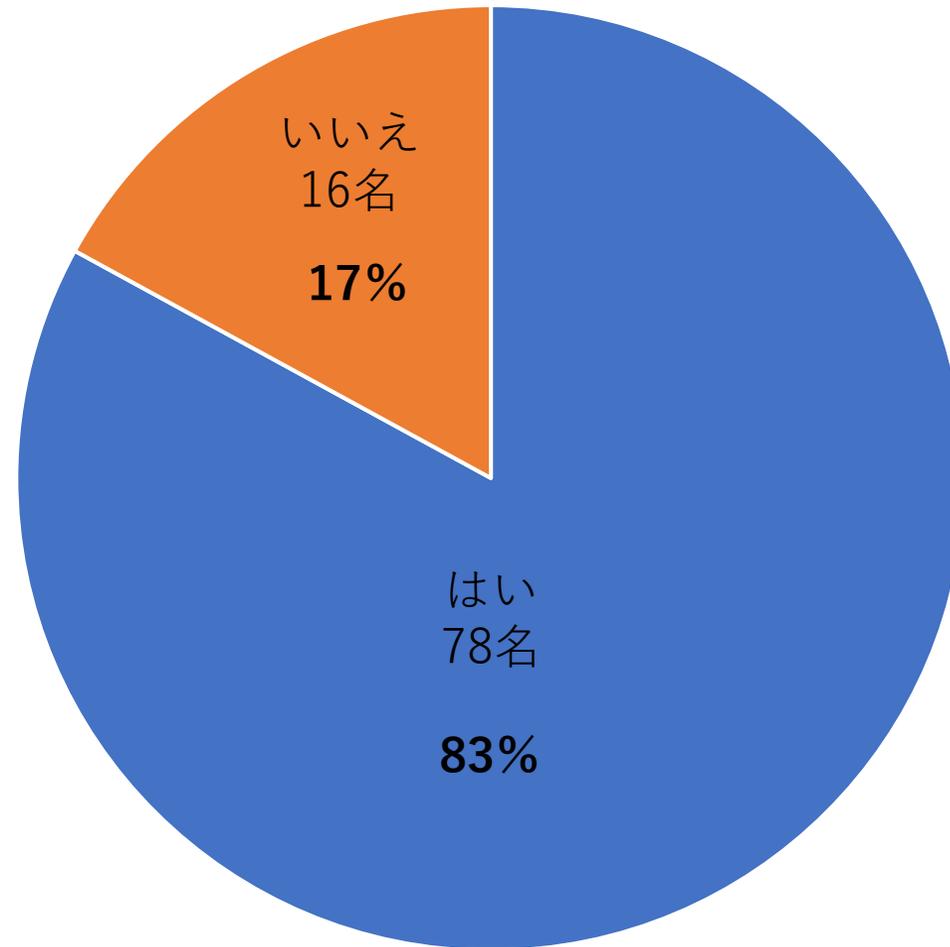
Q15. 乳がん検診での「要精密検査」、「経過観察」という通知を受けた時に、あったら良かったサービスはありますか。（回答数94 ※複数回答可）



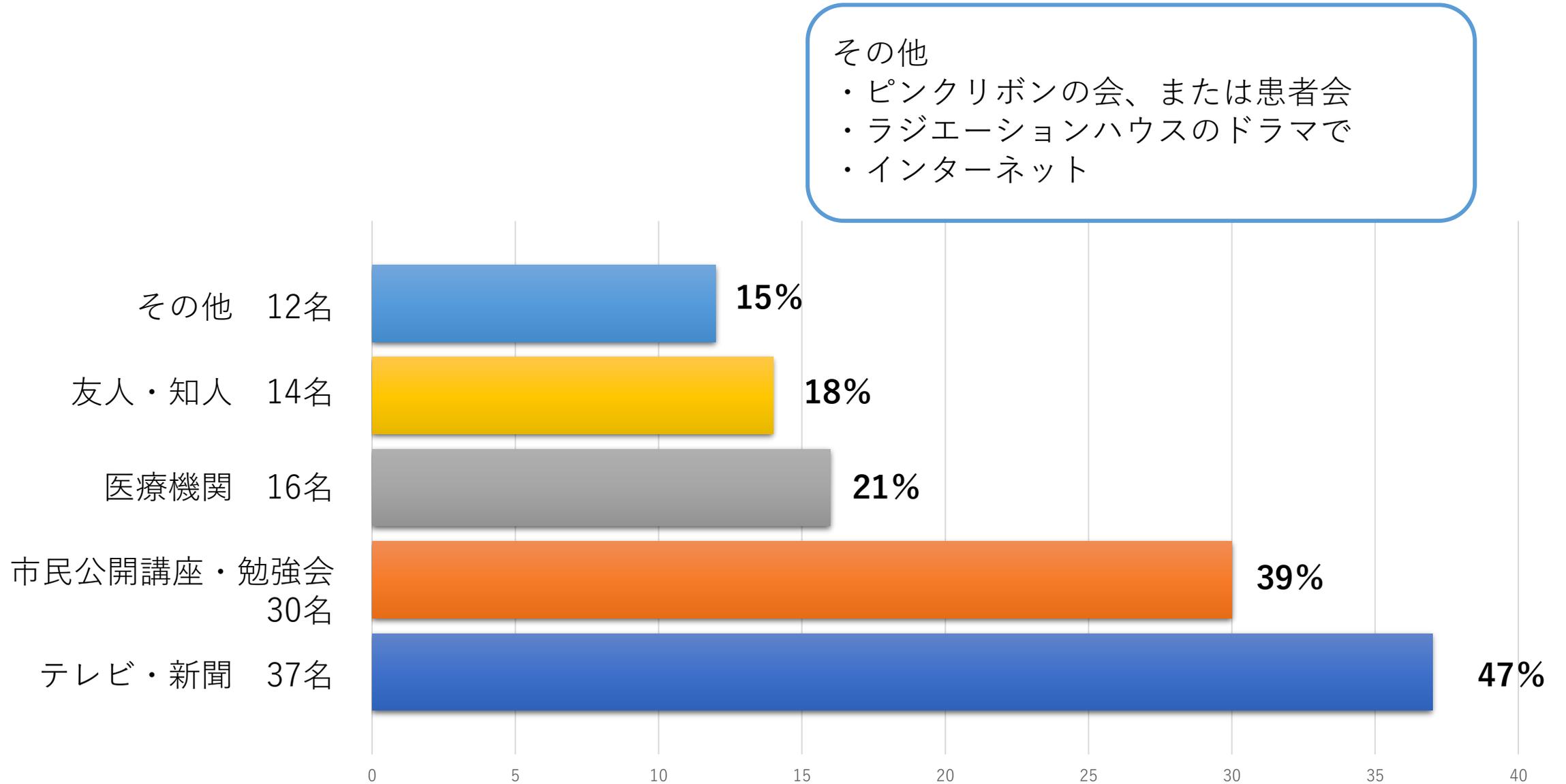
Q16. 検診や精密検査を受けた当時、検査の画像（マンモグラフィ、超音波、MRI）は病院に依頼するともらえることを知っていましたか。（回答数94）



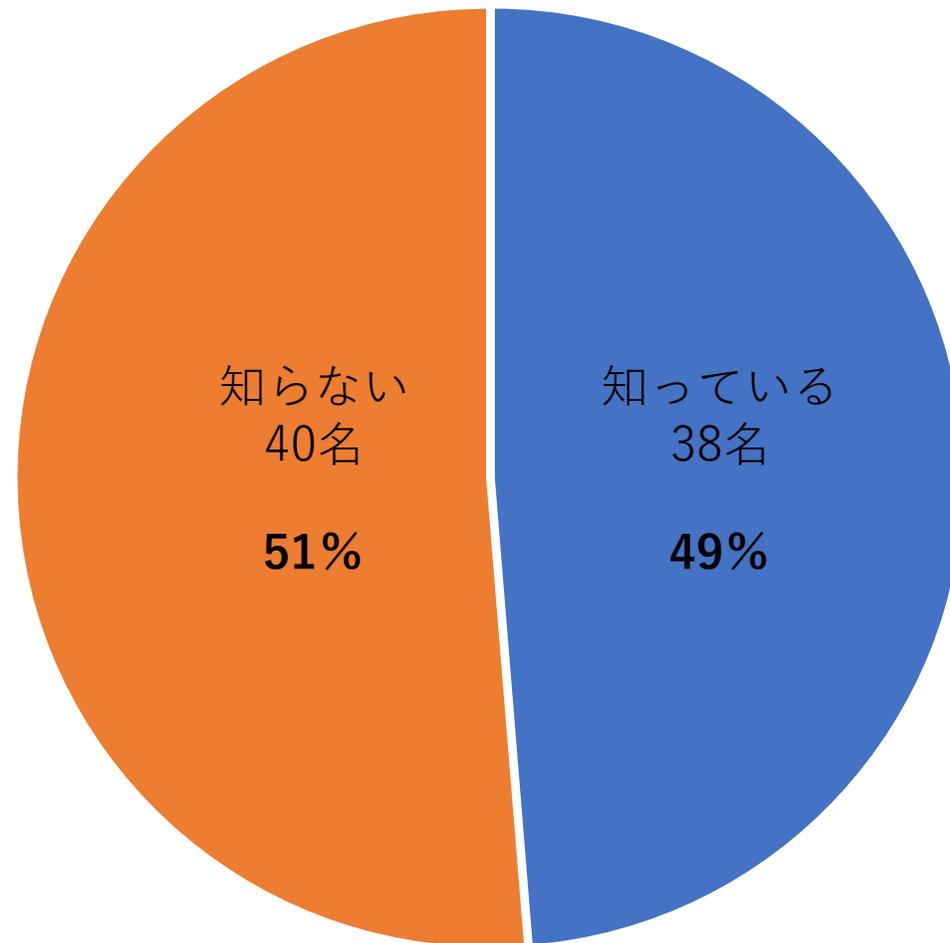
Q18. デンスブレスト（高濃度乳房）という言葉をご存知ですか。（回答数94）



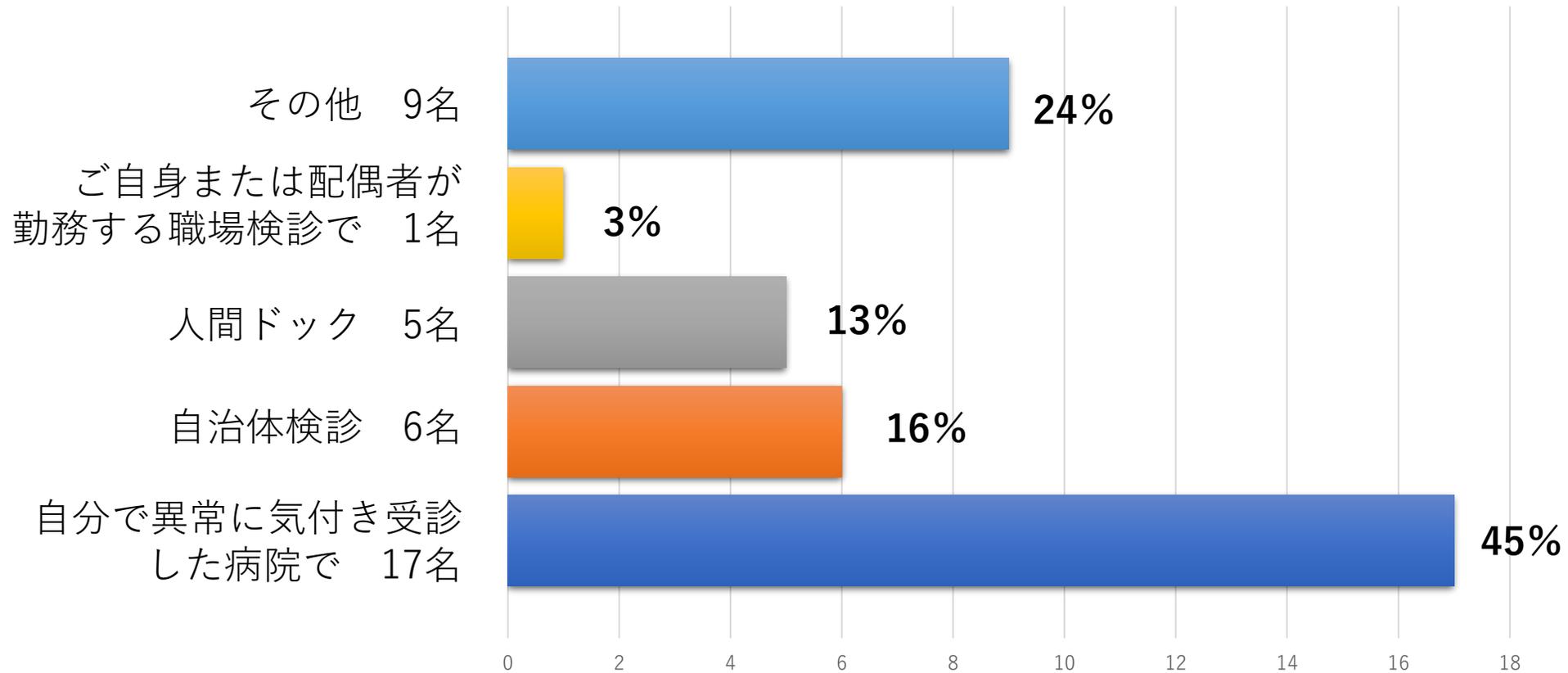
Q19. Q18で「デンスブレスト（高濃度乳房）という言葉を知っている」と答えた方に質問です。  
デンスブレストという言葉はどこで知りましたか。(回答数：78 ※複数回答可)



Q20. Q18で「デンスブレスト（高濃度乳房）という言葉を知っている」と回答した方に質問です。  
あなたはご自身の乳腺濃度をご存知ですか。(回答数78)



Q21. Q20でご自身の乳腺濃度について「知っている」と回答した方に質問です。  
ご自身の乳腺濃度についてどこで知りましたか。(回答数38)



■ その他、ご自身の乳腺濃度についてどこで知ったかについて…

- ・ 乳がん患者会で勉強した（あけぼの会）
- ・ 主治医に、高濃度のため、マンモだけでは診断できないためエコーも必要と言われた。
- ・ 乳がん治療がひと段落した頃に初めてこの言葉を知った時、医師に自分から聞いた
- ・ 最初の精密検査ではなく、3年後に乳がんと診断された時の画像診断で。
- ・ 主治医から聞いた
- ・ 要精密検査となり、頂いた結果の紙に書いてありました。
- ・ かかりつけの乳腺クリニックで乳がん検診を受けた際に。
- ・ 現在かかっている乳腺専門医に。
- ・ 治療の過程で。

## 【最後に】

自らの経験を通して同じ女性としてアドバイスやメッセージを自由にご記入をお願いします。

(一部抜粋)

毎年検診を受けていたが、結局自分でしこりに気づいた。検診と共に日頃から自分の胸に関心を持って、ちょっとした違和感を大事にして欲しい。

マンモグラフィーだけでは、癌は、見つからない場合があると、癌になってから知った。マンモグラフィーで異常なしの半年後に受けた人間ドックのCTで発見されたので検診のときに乳腺密度やエコーの検査の必要性の説明があればよかったと思う。

検診の重要性 検診結果だけでなく、日頃から自分の体を知る事。がんは誰にでもかかる病気であり自分は大丈夫！と思いたまない。がん=死ではない！一人で悩まないでがん支援センターなどを利用し、前向きに考える。自分の病を知ったうえで納得して治療していく。なによりも病に勝つ！と言う気持ちが一番の薬だと思います。

私は早期発見でした。怖かったけど手遅れになるほうがもっと怖い。病気を怖がりすぎずに、検診を受けて欲しいです。

乳がん検診で要精密検査となったら、速やかに然るべき精密機関を受診してください。要精密検査になったうちの○パーセントは良性、と言ったデータを安心材料にして放置しないでください。調べること、知ることには恐怖心があるときは、やるべきことがわかっているにもかかわらず、なかなか行動には移せないものです。そんなときは、地域のがん診療拠点病院に設置されている、がん相談支援センターを頼ってください。「診断から治療、療養生活全般にわたってがんに関するさまざまなご相談をお受けしている」とあるので、診断前でも話を聞いてくださると思います。他にも無料電話相談を行なっている団体も複数あります。辛いとき、不安なときは、ひとりでなやまず、どうか周囲を頼ってください。

乳がん=胸のしこり、というイメージがありますが、私はしこりはなくても乳がんでした。マンモグラフィで石灰化が分かり乳がんと診断されました。しこりがなくても油断せずに定期的に検査を受けることを勧めます。

要検査の当時はデンスブレストという言葉もなく、乳癌の知識も無かったが、今は色々な相談出来る場所や情報を入手できる機会も増えていると思うので、自分だけで抱え込まずに積極的に病気と向き合って欲しいです。

とにかく検診を定期的を受けて下さい。また、マンモだけでなく、エコーや触診も合わせて行って貰って下さい。診断されたら、医者に任せきりにならず自分でも勉強し後悔のない治療をして下さい。あとは様々な患者会に積極的に参加して、ネットの情報には惑わされず、生の声を聞く事をお勧めします。

要精検となっても怖がらず、きちんと検査を受けて、納得がいく治療を受けましょう。

私自身40歳から市民検診を受けていて異常なしでしたが45歳の時に自分でしこりを見つけ受診したら乳がんとの告知を受け左乳房に3箇所がんが見つかり左乳房全摘同時再建手術を受けました、大阪府堺市で、術後6ヶ月過ぎた頃から地域で体験談を語り地味に活動していた所堺市が私の活動に協力して頂けてるようになり、3年前から高濃度乳房の告知を働きかけNPO法人を設立し、昨年度より堺市では市民検診で高濃度乳房の方にはお知らせをしエコー検査を導入を実施してくれています、乳がん患者として私に出来ること早期発見と自己検診の大切さと定期検診と患者さん告知されたその日から心のケアやアドバイスなどの対応をさせてもらっています、今私達が行なっている活動は告知された時から振り返り、悲しみ 不安 恐怖をひとりで耐えるしかなかった事を誰にも感じてもらいたくない、そして自分で見つけられる乳がんはセルフチェックを忘れないで、とこれからも伝えて参ります。高濃度乳房の告知を全国的に広がって欲しいと強く願っています。

自己触診の正しいやり方をマスターし、月に一度の自己触診をかかさず続けて欲しいです。ご自身がデンスブレストかどうかも知っていて欲しいです。